



沖縄県恩納村

— 青と緑の躍動する村 —

No.109

平成23年7月31日発行

議会だより

うんなび



もくじ

- トピックス P 1
- 審議結果一覧 P 3
- 一般質問 P 5
- 東日本大震災被災地視察に同行して P 13
- 議会の動き編集後記 P 15

シリーズ字の自慢 (第19回) 仲泊 ウミガメの産卵する白浜

白い砂浜がどこまでも美しくつづく仲泊の海岸。かつてはやんばる船の那覇と名護の中継地として活気ある良港であった。

時代は流れ、いまではシマの人が朝日を浴びて護岸沿いを健康ウォーキングやラジオ体操で爽やかな汗を流す光景が見られる。夕方には老若男女の夕涼みや語らいの憩い場所になっている。

区民総出できれいに清掃された海岸には毎年数匹のウミガメが産卵のためにあがっ

てくる。ウミガメは産み落とされてから約60日でふ化するそうだ。自然の神秘を感じる時間である。

夏休みには子ども会の児童や地域の人が集り、生まれた子ガメの放流会が行われる。

いつまでも子々孫々まで残したい地元の宝である。

記事担当委員・・・長浜善巳



情熱の歌人
うんなナビー

陳情

香発

審査

総務財政文教委員会

就学援助制度周知・拡充を（陳情第12号）

就学援助制度への広報や申し込みの改善を求める陳情が「反貧困・反失業沖縄県ネットワーク」から提出され、審査をおこないました。

就学援助制度は経済的に困っている小中学生の家庭学用品や給食費、修学旅行費などを援助する制度です。

教育の機会均等を定めた憲法や関連する法律等に基づき必要な援助を受けられるよう制度の周知や拡充を求める内容の陳情です。

恩納村ではすでに実施済みの要請項目があることから9つの要請項目の中から2項目を除く7項目を一部採択しました。

記事担当委員

長浜善巳

採択項目の要旨

- 児童生徒への複数回のお知らせの配布
- 該当する所得基準を知らせる
- 利用しやすいように学校以外の窓口の施設を増やす
- 申請書の簡略化や手続き要旨資料習得時の手数料の免除
- 医療補助の拡大（ぜん息、アトピー性皮膚炎）
- 就学援助に関わる予算を元のように国庫補助とすること
- 国へ教育予算の大幅増額を働きかけること

○採 択（陳情第11号）

市町村教育委員会への諸手当の認定業務の移譲と学校事務の共同実施の推進拡大を求める。

（陳情者：沖縄県教職員組合中頭支部）

中頭地区の全市町村で、既に事務の共同実施の研究が実践され、大きな成果を上げていることや、沖縄県教育委員会と市町村との意見交換で、関連する条例、規則を改正する予定です。

村においても学校管理規則の改正、委任事務規程の制定を検討している状況にある。審査の結果、全会一致で採択となりました。

□不採択（陳情9号）

市町村教育委員会への業務移譲と学校事務の共同実施への慎重な対応を求める。

（陳情者：沖縄学校事務労働組合）

業務移譲の影響などについては、「業務は学校長又は事務長へ委任するものであり、新たな業務負担や人的経費の必要はない」と判断し、委員会では村の考え方や現状の取り組み状況など慎重に審査した結果、全会一致で不採択となりました。

●陳情項目●

1. 沖縄県教育委員会が行う諸手当認定権限の移譲については、権限移譲がスムーズに行われるよう事前協議を含め積極的に取り組むこと。
2. 共同実施事務局に事務長を置くため、市町村立学校管理規則を改正すること。
3. 市町村教育委員会から学校現場への委任は事務の共同実施事務局に委任すること
4. 学校事務の共同実施を行うため、学校管理規則上に位置づけすること。

記事担当委員 又吉 薫

議案等の審議結果一覧

平成23年第5回定例議会

平成23年6月10日～17日

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
議 案 第 44 号	恩納村畜産担い手育成総合整備事業分担金条例の制定	財団法人沖縄県農業開発公社が恩納村で実施する、草地整備や造成、施設の設置、機械の取得などの整備事業に要する費用の分担金徴収について定める。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 45 号	平成23年度恩納村一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に1,705万円を追加して、総額59億6,858万円とする。 歳入 □県介護基盤緊急整備特別対策事業 □不発弾等事前探査事業補助金 □理科支援員等配置事業委託 □東北地方太平洋沖地震大震災被災者受け入れ支援寄付金 歳出 ○東北地方太平洋沖地震大震災被災者受け入れ支援補助金 ○下水道事業への繰出し ○台風被害による施設等修繕費	原案可決 (全会一致)
議 案 第 46 号	平成23年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に272万円を減額して、総額13億7,284万円とする。 歳入 □一般会計からの繰入金の減額 人事異動の調整	原案可決 (全会一致)
議 案 第 47 号	平成23年度恩納村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に5万円を増額して、総額9,277万円とする。 歳入 □一般会計からの繰入金の増額 人事異動の調整	原案可決 (全会一致)
議 案 第 48 号	平成23年度恩納村下水道事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に563万円を追加して、総額6億6,114万円とする。 歳入 □一般会計からの繰入金の増額 人事異動の調整	原案可決 (全会一致)
議 案 第 49 号	平成23年度恩納村水道事業会計補正予算(第1号)	収入、支出の総額は5億1,346万円と変わらず。水道事業費の予備費から営業費へ111万円の人事異動に伴う組み替えとなる。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 50 号	恩納村固定資産評価員の選任につき同意を求める	職員の人事異動に伴い新たに評価員を選任する。 住所：恩納村字恩納 氏名：仲西 智直	原案可決 無記名投票 (15：0)
議 案 第 51 号	沖縄県町村土地開発公社定款の一部変更	公益法人制度改革に伴う民法の一部改正で関係条文を整理するため定款を変更する。	原案可決 (全会一致)
報 告 第 2 号	平成22年度恩納村一般会計予算繰越明許費繰越し計算書の報告	事業金額13億8,860万円のうち9億9,479万円を平成23年度へ繰越す。 □農林水産業費1億1,121万円 □土木費2億1,341万円 □教育費6億7,017万円	報 告

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
報 告 第 3 号	平成22年度恩納村下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越し計算書の報告	事業金額 3 億8,000万円のうち6,719万円を平成23年度へ繰越す。 □農業集落排水事業（山田地区、恩納第1地区）	報 告
報 告 第 4 号	平成22年度恩納村一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告	支出負担行為額2,387万円のうち415万円を平成23年度へ繰越す。 □公用車購入費、コミュニティーセンター空調機設置工事 ・東日本大震災の影響で部品調達が滞り納品時期が遅れたための繰越し。	報 告
委員会発 第 3 号	子供の医療費助成の拡充を求める陳情	○別項記事参照	

■ 請願及び陳情に関する取り扱いについて

番号・受付日	件 名	処 理 結 果
陳情第5号 平成23年3月7日	子供の医療費助成の拡充を求める陳情 ○別項記事参照	第5回定例会 採 択
陳情第6号 平成23年3月7日	沖縄県民間戦争被害者援護給付金支給暫定制度（条例・行政指導要綱）確立の請願・要請書 那覇市空襲・艦砲射撃被害者援護給付金支給制度（条例・行政指導要綱）確立の請願・要請書 （戦傷病者戦没者遺族等援護法の適用を受け援護されたものを除き、沖縄県民の未補償一般戦傷被害者の暫定的救済処置を2012年度から実施するよう要請するもの。）	第5回定例会 資料配布
陳情第7号 平成23年3月8日	「子供・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情	第5回定例会 継続審査
陳情第8号 平成23年4月14日	地球を守り、未来への道を開くための宣言、決議 地球環境が破壊され、肉体的生存が脅かされている、暴力の強化に懸命にならざるを得ない国際社会は、地球を守ることができない仕組みになっている。軍事力は公平の原則を侵して、特定国の暴力は正義に反していると、地球共同体社会の安全を保障するための請願。	第5回定例会 資料配布
陳情第9号 平成23年4月25日	沖縄県教育委員会の教育事務所統廃合による、市町村教育委員会への業務委譲と学校事務の共同実施拡大への慎重な対応を求める陳情書 ○別項記事参照	第5回定例会 不 採 択
陳情第10号 平成23年4月27日	世界防衛宣言に関する陳情書 戦争の必要のない高度な共同体社会建設への決議が、戦争の準備に狂騒する国際社会の前提を変え、戦争のない世界・核廃絶・未来への道を開くとの陳情。	第5回定例会 資料配布
陳情第11号 平成23年5月24日	沖縄県教育委員会による、市町村教育委員会への諸手当の認定業務の委譲受入れと学校事務の共同実施推進拡大に関する陳情 ○別項記事参照	第5回定例会 採 択
陳情第12号 平成23年6月3日	就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 ○別項記事参照	第5回定例会 一部採択

一般質問

Onna Village Assembly

第5回恩納村議会定例会 平成23年6月14日・15日

今回の一般質問の状況 （○は今回掲載された質問です）

仲田 豊 議員 ☎967-8338 P-5

- 東日本大震災への村の支援状況について
- 村の非常避難場所の見直しについて
- 非常用食品の備蓄について

又吉 薫 議員 ☎966-2911 P-9

- 外国語活動について
- 建設関連業界の支援と指導・育成について

又吉 貢 議員 ☎964-2179 P-6

- 山田地区宅内配管・し尿処理費について

山城 良一 議員 ☎965-5513 P-9

- 財政運営について

長浜 善巳 議員 ☎965-2100 P-7

- 商工振興について
- 村道の保守管理について
- 村の非正規職員の処遇について

當山 君子 議員 ☎967-8508 P-10

- 防災について
- 男女共同参画社会の促進について
- 福祉ネットワーク体制について

山内 鈴子 議員 ☎964-3468 P-8

- 台風2号の被害状況について
- 村立保育所の職員教育について

吉山盛次郎 議員 ☎965-0669 P-11

- 災害に対する危機管理について
- 指定管理制度の運用について
- 教育行政について

宮平 安德 議員 ☎965-4145 P-8

- 字真栄田親田原の土地改良と真栄田原、シラカズラ原耕作地の整理について

宮崎 豊 議員 ☎966-2458 P-12

- 恩納バイパスにアクセスする村道の安全対策について
- バイパス開通による旧国道58号線沿いの事業所への対策は検討するか
- 3.11大震災の影響による菊等の出荷制限や台風2号によるビニールハウス等の被害等に対する農業者への支援は検討しているか

議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、会議録（録音テープ）に基づいて各議員が600字以内にまとめ、議会広報委員会が会議録で最終確認したものを掲載しております。

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。

また、村ホームページ（会議録）からも検索できます。

仲田 豊 議員

東日本大震災への村の支援状況について

質 仲田 豊

村営住宅、民間アパートに被災者を受け入れていただけますか。

答 総務課長 名城淳一

東北3県の中、住宅全壊、半壊のところからきてないので受け入れはしていません。

現在、村が把握している数字で10世帯29名、宮城県、福島県からきて9世帯25名は民間団体プロミスキパーさんが無償提供のペンションに、1世帯4名は民間アパートに入っております。

質 仲田 豊

村は支援活動に職員の派遣は。

答 総務課長 名城淳一

2名の保健師を予定しておりますが、職員の退職、人事異動があつて県に状況説明し基本的には業務に支障が出ないことが前提ということで派遣はしていません。



に明和の地震も東日本大震災と匹敵する大津波が記録に残っております。

村内の多くの住宅地が災害予想区域に指定されており、そのことから考えますと現在の避難経路、避難場所、避難施設の複合的災害がおこるのを念頭に総合的見直しをする必要があると思えますが考えを伺います。

答 総務課長 名城淳一

村民の安全を守ることは、防災計画は大事になると考えます。

年度で防災計画を予定し現在の地域防災計画が、大幅見直しを求められ色々な意見を伺いながらやっていきたい。

質 仲田 豊

防災訓練の計画はありますか。

答 総務課長 名城淳一

村として、村全体の防災訓練はやっておりません。今回の防災計画の中で詳しい防災訓練の事もふれていく必要があると思いい検討していきたい。

又吉 貢 議員

**山田地区宅内配管・
し尿処理費について**



常会等を利用させていただきまして説明会を開催しておりますが、経済比較の問題たしかに大変重要だと思えます。

合併浄化槽で6万5千円ほどかかる、宅内配管で、5人で年間に換算すると3万千円。約半額になるという面では十分PRし区長さんと調整し説明会を開催し、また個別に説明が出た場合は、訪問して説明したいと思います。

質 又吉 貢

山田地区宅内配管の補助金の期限はいつ頃になるか。

答 上下水道課長 古賀弘之

村の宅内配管の財源確保の問題があり今後の状況を見ながら判断したいと考えております。

また、期限を定める場合は事前に地域の皆さんに周知を図りたいと思えます。

**村の非常避難場所の
見直しについて**

質 仲田 豊

沖縄近海も地震の兆候があると指摘する学者もいます。約200年前

答 上下水道課長 古賀弘之

山田区から宇加地区までの戸主

質 又吉 貢

年間村の方で、し尿処理費が3千万を超える。単純に計算しますと、村の人口の22%が山田校区に住んでいる。それを計算したら、70万円ぐらい浮く計算になる。

し尿処理費は一般財源、村民の税金で賄われている。接続した家庭が下水道費とし、尿処理費の両方の負担が出てくる。そこを担当課長の方、どう考えているか。

答 村民課長 仲村敏安

村全体で22年度3千392万4千円を支出しています。これは村の負担となっておりません。事業完了時、地域の皆さんが下水でつないで、し尿処理費は、削減されるべきだと考えます。

長浜善巳 議員

商工振興について

質 長浜善巳

恩納バイパス開通に伴い、旧道路沿いを訪れる観光客や行楽客な

どの減少が起こっております。

新たな地域振興策を考えなければいけない、施策はあるか。

答 商工観光課長 平良幸夫

交通渋滞が解消された一方、商業施設の売り上げが減った。58号線沿いには隠れたスポットが多くある。

これを中心として緑化、誘導看板等の設置、各種事業所と連携したイベント開催など推進してまいりたい。

4月29日に開通した恩納バイパス



質 長浜善巳

これまで恩納村はホテル頼みの観光地。ホテルを当てにした飲食店や土産物屋が結構あったと思います。

村の魅力を掘り起こし、魅力発見を再度すべきじゃないか。

答 商工観光課長 平良幸夫

新たな観光地として現国道のあり方をどう考えるか、商工会、営業をしている企業の方々含め網羅してオール恩納でやっていく必要がある。

村の非正規職員の処遇について

質 長浜善巳

臨時、非常勤職員等の村職員の全体に占める数、割合。どのような雇用形態になっているか。

答 総務課長 名城淳一

正規職員は129名、非正規職員は152名、非正規職員が職員全体占める割合は、54・7%です。委託の

雇用形態については1年更新。経験年数、職種にもよりますが委託料には差があります。

臨時職員は基本的に2年契約で給料は日給制です。委託、臨時とも社会保険も加入しています。

質 長浜善巳

雇用契約が終了した後、優秀な人材はどのようになっているのか。

答 総務課長 名城淳一

優秀な人材はこの職場でも必要です。雇用期間が終了した後、職員採用試験があればそれに受験しております。

その中で職員として採用された方もおります。職種によっては臨時職員から委託職員に変わった方もおります。

山内鈴子 議員

台風2号の被害について

質 山内鈴子

農作物の被害額について伺います。

答 農林水産課長 大城哲夫

5千873万円の被害総額となっております。

質 山内鈴子

被害を受けた農業従事者への説明への見解を伺います。

答 農林水産課長 大城哲夫

近々、各組織から要請等がある
と話は聞いておりますので、話を
確認してから検討していきます。

質 山内鈴子

木の枝が根ごと倒れ、道路まで
転がって撤去作業に追われた地域
もあつたと思いますが、被害状況
伺います。

答 農林水産課長 大城哲夫

農道に樹木枝が折れたりしてい
ましたので翌日から職員を動員し、
撤去作業実施しております。

質 山内鈴子

仲泊では海岸沿いの道路まで伸
びすぎたモクマオウ等が倒れ、交
通の妨げとなったモクマオウが伐
採され、海岸に投げ捨てられてい
る状況どう感じられたか。

答 建設課長 仲嶺真季

今後検討します。

村立保育所の職員教育について

質 山内鈴子

3保育所の正職員及び臨時職員
の人数伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤

3保育所、子育て支援センター
の保育士が14人、委託保育士が19
人、臨時保育士が18人です。

質 山内鈴子

臨時職員の採用はどのように実
施されているのか。

答 福祉健康課長 大城保篤

総務課に提出された履歴書に基
づき採用しています。

有資格者、保育士の資格が出て
いない場合は保育士の知っている
人を頼んで履歴書を出してもらっ
て、その結果採用する事例もござ
います。

質 山内鈴子

臨時職員の採用について、役場

職員の関係者が多いという村民の
声も聞こえますが、そのような事
実関係もあるのか。

答 福祉健康課長 大城保篤

ご指摘の部分は、確認を取って
おりません。

質 山内鈴子

職員臨時職員の教育体制はどの
ように実施されているのか。

答 福祉健康課長 大城保篤

正規職員は採用時に初任者研修
等実施しておりますが、臨時職員
は実施しておりません。

宮平安徳 議員

字真栄田親田原の土地改良と真栄田原、シラカズラ原耕作地の整理について

質 宮平安徳

土地改良区として指定されてい
る真栄田親田原の開発、シラカズ
ラ原の耕作地を整理することによ
り、若手の農業後継者が育つので
はないかと考えますが、村長とし
てどのようにお考えになっていま
るか見解を伺いたします。

答 農林水産課長 大城哲夫

この地域は以前、琉球政府時代
に区画された地域だと思いますが、
親田原については村の計画等には
いったいいない。

この地域には、1万㎡以上の耕
作放棄地、休耕地等があり、遊休
地対策が先決だと思っております。
筆数が多く面積が小さいなど、減
歩率等から厳しいのではないかと
考えます。

質 宮平安徳

先人方々がオーラかついで、モッコをひいて、ユイマール精神をもってやった貴重な土地改良でございます。

そのおかげで、今日まで皆さんが耕作をして生活を支えてきた場所でもありません。

毎年、行政懇談会のたびに塩屋から側溝にふたをして農道を作りなさいというのも解決方法を見出すことができるかと私は考えている。真栄田、塩屋の区長と早めに話し合ってもらいたい。

答 村長 志喜屋文康

地権者、地元の考えを受けて、それと同時に補助事業を導入することができると、課長が先ほど言ったように減歩率がこの程度になって、どの程度の道ができると、それでできるのか検討させていただきたい。

又吉 薫 議員

建設関連業界の支援と指導育成について

質 又吉 薫

村内業者への優先発注と支援や基本的な考え方について伺います。

答 副村長 池宮城秀光

村発注工事は村内業者を優先に発注します。しかし、特殊工事は村内業者で対応が難しいことがあり、多様な工事に対応できる資格取得と施行能力の向上に期待します。

質 又吉 薫

大型工事の分離分割発注について伺います。

答 副村長 池宮城秀光

建築工事の場合には一般的に分離発注しています。土木工事の場合には可能な限り分割発注しています。質問の大型工事も土木工事は分割可能であれば分割発注したい。建築工事の場合、本体工事を分割発注すると工事費が高くつくので検討せざるを得ない。

質 又吉 薫

最低制限価格の引き上げについて問題点等を含め質問します。

答 副村長 池宮城秀光

最低制限価格は1千万円以上の工事で予定価格の10分の7から10分の9の範囲で設定します。最低制限価格の引き上げは業者の利益率の向上になり、雇用の創出につながる。ひいては村の経済活性化につながる。

一方、工事費の引き上げ、財政の負担が高くなる。上限90%をあげるのには国県の指導、議会と業者会の意見を聞き検討すべきと考えます。

質 又吉 薫

公共工事で下支えするのも難しくなる。多角経営、新分野進出、民間需要の開拓が必要。農水産商工観光とのマッチング、仲介、国県の支援事業等トータル的な相談ができる窓口は設置できないか。

答 商工観光課長 平良幸夫

村としても異業種への参入、他

業者とのマッチング、介入、相談等必要とおもいます。しかし、行政は専門知識もございません。商工会と連携し、側面からのバックアップはできると考えます。

山城良一 議員

財政運営について

質 山城良一

軍用地料、事業所分収金の支払う根拠はどこにあるのか。

答 総務課長 名城淳一

議会議長と村長との覚書で決めています。毎年やるのではなく、分収金の配分、自治会補助金の単価変更があった場合。

質 山城良一

軍用地の共同使用とは

答 総務課長 名城淳一

軍用地契約をしていた民有地や公有地内に公共施設等の事業目的のために、提供土地の一部を一時使用すること。

質 山城良一

入ってきた軍用地料に10分の9も返さないといけない。予算にして1千678万9千円も国に返さないといけない。国に申し立てをし地位協定の改定も行ってもらいたい。分収金の分収割合を今後見直す考えはあるのか。会計管理者、総務課、答を求めます。

答 会計管理者 金城尚子

一緒に考えていけたらと思います。

答 総務課長 名城淳一

村の財政が立ち行かなくなったから、考えていく必要がある。

質 山城良一

副村長として、どう思われるか。

答 副村長 池宮城秀光

行政改革等では財政を厳しく抑制しております。検討する余地はある。

質 山城良一

地料も含めて、いろんなものを検討すると思うんですが、村長にお伺いします。

答 村長 志喜屋文康

24年度に軍用地の改訂がある。来年度の地料のアップにつきましては村が使えるようにしていきたい。現在、配られている分収金については現行のまま。アップした分をどうするか考えていきたい。

當山君子 議員

防災について

質 當山君子

本村も災害に強いむらづくりを前提とした地域防災組織を見直し、村民が防災意識の向上を図り、各自治会の自主防災組織体制も強化されますが、自主防災組織づくりは各自治会へどのような指導をされているか。

答 総務課長 名城淳一

本村は細長い村で自主防災組織は重要であります。今年度策定する防災計画で十分議論し検討していきたい。

質 當山君子

自主防災組織の件につきまして区長会と話し合いをされたか。

答 総務課長 名城淳一

区長常会の中で要望事項があり、今年度防災計画策定しますので区長さん方と一緒にやらなければいけない。

男女共同参画社会の促進について

質 當山君子

地方自治法180条の5に基づく委員会等の委員数と女性の登用率について。

答 総務課長 名城淳一

委員数28名、内4名女性、登用率14%。

質 當山君子

地方自治法202条の3に基づく審議会等の審議数と女性の登用率について。

答 総務課長 名城淳一

審議会の設置数20、委員総数100名、内18名が女性、登用率18%。

質 當山君子

男女共同参画の動きや行動計画の推進状況等を村民及び関係団体等への広報、啓発はどのように周知されたか。



3月11日 瀬良垣区の避難状況

答 総務課長 名城淳一

啓発については国県からの資料、ポスターを区長常会で配布、庁舎内でポスター掲示、資料等は各担当課の窓口を設置しております。

質 當山君子

意識啓発のための講演会及びシンポジウム等の実施予定は。

答 総務課長 名城淳一

今年度は厳しい。婦人団体連絡協議会で企画すれば全面的にサポートしたい。

質 當山君子

今後、男女共同参画を推進する際の支援や啓発目的の活動する行政地域連絡会又は懇話会の設置はできないか。

答 総務課長 名城淳一

関係課、婦団協と検討します。

福祉支援ネットワーク体制について

質 當山君子

福祉支援ネットワーク体制について

答 福祉健康課長 大城保篤

各種委員や相談員の職責の違いや囑託者が異なること等もあり検討が必要。

吉山盛次郎 議員

災害に対する危機管理について

質 吉山盛次郎

村内に5校あり、津波に襲われた場合2次避難も含めて危機管理マニュアルはどう考えているか。

答 教育長 石川哲夫

既に村内の学校で地震津波に対する危機管理マニュアルが作成されています。

質 吉山盛次郎

子どもたちの意識、地震津波が認識されていない。その教育指導はどうなされているのか。

答 教育長 石川哲夫

校長会で危機管理マニュアルに対する訓練と授業の中の津波の位置づけをして意識付けをお願いし

教育行政について

質 吉山盛次郎

教員の資質向上について教育長の見解を伺いたい。

答 教育長 石川哲夫

教育委員会では村内5校の教員を一同に会してのスキルアップ研修、2回終わった。あと2回行います。

秋田県から先生を2人招いて各学校に入れて指導を受けました。

村内授業研を行って公開授業を頻繁にしなさいと指導主事2人が学校を回ってきてる。

質 吉山盛次郎

教育委員会が引っ張っていかなくちゃいけないのようにお考えでしょうか。

答 教育長 石川哲夫

中学校の先生方も兼務辞令が発せられ小学校において授業の応援ができます。小中連携を一層強くしていけると意を強くしている。

指定管理制度の運用について

質 吉山盛次郎

真栄田漁港を分離して塩屋区に指定管理することができるか。

答 教育課長 當山欽也

現在の指定管理から塩屋に分離した場合、施設運営面でのサービスの向上、利用者の利便性の向上、管理運営経費の削減が図られることが見込まれれば可能と考えてます。

指定管理が25年3月末までとになっておりその後になる。

宮崎 豊 議員

恩納バイパスにアク
セスする村道の安全
対策について

質 宮崎 豊

現場にスリップ痕、U字溝にぶ
つかっている痕を確認していま
すか。

答 建設課長 仲嶺真季

職員も私も確認してませんが事故

があったことは感づいてない。

質 宮崎 豊

現状で危険がないとの認識か。

答 建設課長 仲嶺真季

危険だとつくづく感づいています。

質 宮崎 豊

安全対策計画ありますか。

答 建設課長 仲嶺真季

改良することで道路改良設計委
託を行っています。

質 宮崎 豊

危険度なくなるのはいつか。

答 建設課長 仲嶺真季

実際に予算組んで完成するまで
に短くても2年はかかる。

質 宮崎 豊

2年間現状のままか。

答 建設課長 仲嶺真季

その前に、カーブミラー、滑り
止め、ガードレールを計画中。

質 宮崎 豊

いつやりますか。

答 建設課長 仲嶺真季

今年中に予算を組んでと思っ
てます。

バイパス開通による
旧国道58号線沿いの
事業者への対策は検
討するか。

質 宮崎 豊

例えば弁当屋、食堂、土産物屋
は影響が出るように感じます。村
として予測はついてたと思うが事
前の対策協議はされたか。

答 商工観光課長 平良幸夫

2、3年前から村おこし協議会、
商工会の中で話し合いはされて
いた。

質 宮崎 豊

早急にどのようなことを考えて
やっているか。

答 商工観光課長 平良幸夫

決定したものはございません。
商工会を中心として事業所、村と
話し合いの場を設けたい。

3・11震災の影響による菊等の
出荷制限や台風2号によるビニ
ルハウス等の被害などに対する農
業者への支援は検討しているか

質 宮崎 豊

震災に関連してキク、観葉、切
り葉そういつた生産者の損害額。

答 農林水産課長 大城哲夫

3月現在キクで5千500万円と報
告をうけてます。

質 宮崎 豊

収穫前のマンゴー、パッション
だつたり相当の被害をだしています。
農業、モズクはどのような状態か。

答 農林水産課長 大城哲夫

花卉等で3千800万円、漁業関係
で3千600万円の被害です。

質 宮崎 豊

後継者がやる気出せるような魅
力ある農漁業にするための支援、
指導の計画しているのか。

答 農林水産課長 大城哲夫

農業施設共済、漁業はモズク共
済等に今以上の推進を図ってい
きたい。



村道72号 (字恩納当袋原)

東日本大震災被災地 視察に同行して

— 沖縄県町村議会議長会研修 —

執筆者
副議長 仲田 豊

沖縄県町村議会議長会（沖町村議長会に省略）は、7月8日から2泊3日の日程で東日本大震災被災地視察を行った。当村議長は所用で名代の私が赴き、県内参加者は19名（議長13名、副議長4名。県町村議会事務局2名）の視察訪問となった。

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするM9の東日本大震災による壊滅的、甚大な被害状況は、地震発生直後から新聞、テレビ等のマスコミで連日報道され、生々しい映像は脳裏から離れず、今なお焼きついているとありましょう。沖町村議長会の視察目的は、「被災地を実際に視察・体感することにより、各町村議会での調査活動や防災計画の見直し等に反映させることは大いに意義がある」との考えから視察訪問を理事会で決定し、各町村議会事務局を通し

上記の参加人数となった。

沖町村議長会の視察訪問先は、岩手県町村議会議長会訪問を皮切りに山田町、大槌（おおつち）町、釜石（かまいし）市など岩手県内の被災地だけに留めた。

倒壊家屋、避難所、仮設住宅、ガレキ置き場、防潮堤被災状況、被害の状況、復旧の状況などそれぞれの被災地担当から説明を受けた。

山田町は人口1万9500人で7月5日現在、死者658人、行方不明者127人、避難者1929人、避難所25箇所、町中心部は大規模火災も発生し、住家の半数が倒壊（3184棟）、養殖施設も壊滅状態。役場庁舎は浸水したが使用は可能である。

近隣市町村に応援をお願いしているが、力の限界を超えるとの説明。気温35度の炎天下で、説明者



の疲れの色が濃く額から大粒の汗が流れるのが印象的だった。

実際、現地を見聞するにあたり、震災発生時、大津波がテレビ等から流れる痛々しいあの日の状況が脳裏をかすめ、頑丈にできた高い二重の防潮堤も自然の脅威には力尽き、ところどころ壊滅し散乱している。

一見、廃墟と化した乱立の家々は、ある程度ガレキは撤去されているものの、津波火災で黒く焼き

焦がれ、天井、雨戸等が剥がれ、むきだした鉄骨の建物や散らばる電柱、その他数々の大量の残骸。見渡す一面に復旧の兆しに莫大な時間を要するに違いないと思えた。大槌（おおつち）町は人口16200人、7月6日現在で死者786人、行方不明者827人、避難者2481人、避難所28箇所、住家の倒壊3677棟。町長をはじめ役場幹部が防災対策会議中に津波が襲い、職員4分の1が犠牲となった。

町役場は2階まで浸水し、震災後の対策本部は高台の中央公民館に移り行政を機能させていた。仮庁舎は大槌小学校の校庭に設置され機能している。

大槌湾に浮かぶ蓬菜（ほうらい）島は、作家の故井上ひさしの原作「ひょっこりひょうたん島」のモデルとされ、約400メートルの堤防は津波で流され鳥居、灯台が崩壊している。

人形劇「ひょっこりひょうたん島」の主題歌は国民的な人気で歌い継がれ、地元では防災無線を通して毎日正午町内に流され、また、豊漁を祈願する町のシンボリックな存在であったと話を伺った。

釜石湾から襲いかかった津波は、釜石市の死者878人、行方不明者352人、家屋倒壊3723棟となっており、港湾施設も甚大な被害となっている。

人口3万9119人の釜石市の沿岸にも大きな被害をもたらした。視察先のいずれの被災地も不由な状況の下、未曾有の震災、津波の被害から4ヶ月が経過した中、復興の道は険しく膨大なガレキの山々、防波堤に放置し碎かれた漁船、山積みされた多くの使用不能の車、橋梁の決壊、道路、路線の寸断などインフラ整備、避難生活者の物静かな高齢者、恐怖の大震災から覚めやまぬ被災地の方々を、無惨にも父母、兄弟、家族の絆をズタズタに引き裂いたあの忌まわしい東日本大震災。

後のソフト面などの心のケアをどうすればいいのか。被災地の復旧、復興に向けて国はスピードある施策を打ち出し、被災者に寄り添い、現地での生を受け取ってほしいと強く感じた。

自然災害の恐ろしさを肌で感じる事ができ「負けてたまっか」「頑張っぺ」東北の意気軒高のな



まり声が聞こえてくるようであった。厳寒の冬を耐え耐えて東北魂を発揮し、押し寄せる悲しみを乗り越え、「頑張れ東北、頑張れ三陸」と心の中で大きく叫ばずにはいられなかった。

7月10日午前8時30分、盛岡市の宿泊先の某ホテル厳寒で、沖町村議長会、議会事務局全員で厳粛に被災地の方向に1分間の黙とうで哀悼の意を捧げ、被災地を跡に帰路へと向かった。

■ 組合議会の報告

受付日	事務組合	報告の内容	結果
平成23年 2月28日	沖縄県介護保険 広域連合議会 第30回(定例会)	同意第1号、第2号 沖縄県介護保険広域連合副広域連合長に平良朝幸(久米島町)、新垣邦夫(中城村)の2議員を選任	同意
		議案第1号: 広域連合職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正 議案第2号: 広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正 議案第3号: 平成22年度一般会計予算(第3号) 歳入歳出予算の総額に69万円追加し、総額はそれぞれ8億5,020万円とする。 議案第4号: 平成22年度特別会計予算(第2号) 歳入歳出予算の総額11億9,953万円を追加し、総額はそれぞれ228億9,582万円とする。 議案第5号: 平成23年度一般会計予算 歳入歳出は総額それぞれ9億2,174万円とする。 一時借入金の最高額は1億円とする。 議員第6号: 平成23年度特別会計予算 歳入歳出は総額それぞれ239億7,490万円とする。 一時借入金の最高額は20億円とする。	可決

議 会 の 動 き

6 月

- 5日 前兼久ハーリー
- 8日 議会運営委員会
- 10日 第5回恩納村議会定例会（開会）
- 17日 第5回恩納村議会定例会（閉会）
- 20日 金地区消防衛生組合臨時会
- 23日 沖縄県全戦没者追悼式（議長）
- 24日 恩納村漁業協同組合定期総会（議長）
- 27日 議会広報委員会
- 29日 恩納村慰霊祭
- 30日 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会（議長）

- 15日 議会広報報委員会
- 19日 恩納分屯基地司令・退任あいさつ（議長）
- 20日 議会広報委員会
- 20日 うんなまつり会場周辺草刈り作業
- 23日 うんなまつりオープニングセレモニー
- 24日 うんなまつり
- 27日 金地区消防衛組合視察研修・北海道（29日まで）
- 28日 沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会

7 月

- 1日 銘川宗和氏・農林水産大臣賞受賞祝賀会（副議長）
- 2日 韓国三星ライオンズ訪問（議長 5日まで）
- 6日 経済建設民生委員会 所管事務調査
- 7日 北部市町村議会・事務局研修会・スポーツレク大会
- 8日 東日本大震災被災地視察（副議長 10日まで）



被災者仮設住宅（岩手県内）

- 8日 中部北環境施設組合議会臨時会
- 11日 暴走・騒音・交通事故防止要請（議長）
県産品優先使用要請（議長）
恩納村商工会村産品優先使用要請（議長）
夏の交通安全運動出発式（議長）
- 12日 議会広報委員会

編集後記

村民のみなさまこんにちは。暑中お見舞い申し上げます。暑い日が続きますが夏バテはしていませんか？ 程良い水分補給で熱中症に気をつけてこの夏を乗り切りましょう。

さて、今回の「議会だより」は、発行する時期を「皆さんに少しでも早く見ていただきたい」との思いから、委員の協力で一カ月早くすることができました。広報委員になつて5年目ですが初めてのことで、これから皆さんに興味を持って見ていただけるように工夫していきたいと思えます。

話は変わりますが、議会は年4回の定例会の他に臨時議会もあります。この会議も含めると、ほぼ毎月会議が開かれています。また、4つある常任委員会もそれぞれ開かれています。

定例会の中で「一般質問」がありますが、ほぼ毎定例会ごとに2日間組まれます。この時に多くの村民の皆様が傍聴していただきたいと思います。みなさんが日々疑問に思っていることが議題に上がっているか、わが村はどのような方向をめざしているかなど、議会に興味をもって足を運んでもらい一緒に盛り返していきましよう。

編集長 宮崎 豊

- 発行：恩納村議会
住所：沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
- 編集：議会広報委員会 電話（098）966-1199
メールアドレス：gikai@vill.onna.okinawa.jp